
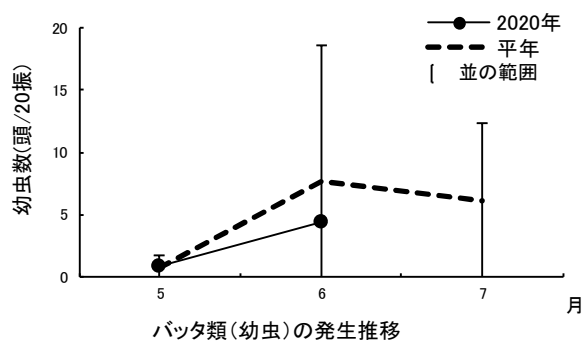


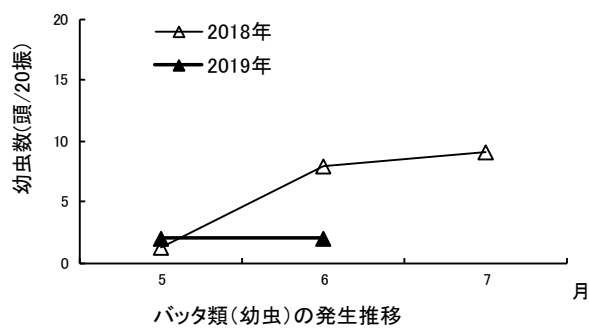
作物	さとうきび	地域	沖縄本島
病害虫名	① バッタ類		
予報	7 月の発生量 (平年比)	並	
	6 月からの増減傾向	↘	
予報の根拠	6 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↘)	

調査結果

今年と平年の推移



過去2年間の推移



- ・病害虫防除員の報告 (タイワンツチイナゴ) : 多発生 (南大東村)

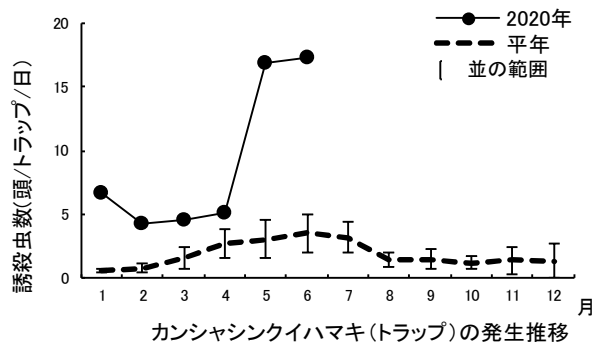
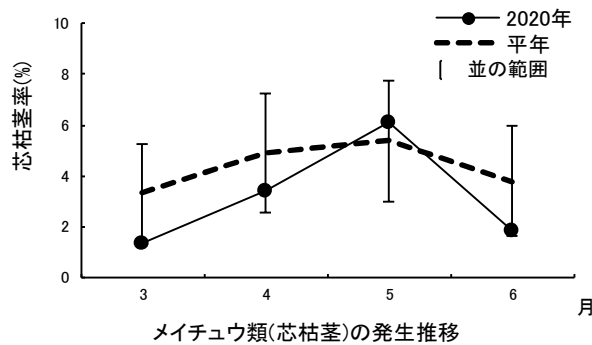
防除のポイント

- ・老齢幼虫になると薬剤の効果が低下するので、若齢期の防除が重要である。

作物	さとうきび	地域	沖縄本島
病害虫名	メイチュウ類 (カンシャシンクイハマキ)		
予報	7 月の発生量 (平年比)	-	
	6 月からの増減傾向	-	
予報の根拠	6 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)		



調査結果



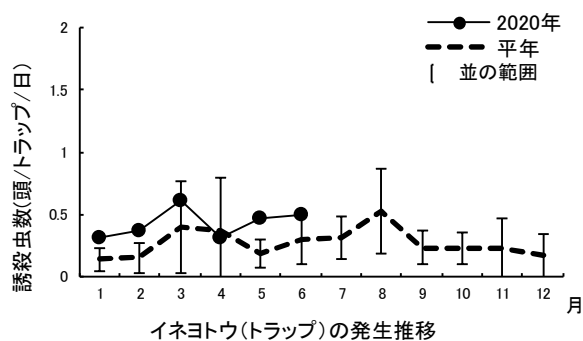
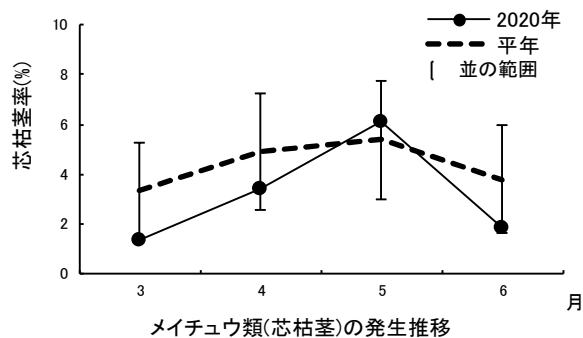
- ・沖縄本島の茎内で発見したメイチュウ類の85%(22/26頭)がカンシャシンクイハマキであった。
- ・病害虫防除員の報告(メイチュウ類)：多発生(久米島町)

防除のポイント

- ・ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
- ・ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
- ・植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。

作物	さとうきび	地域	沖縄本島
病害虫名	メイチュウ類(イネヨトウ)		
予報	7 月の発生量 (平年比)	-	
	6 月からの増減傾向	-	
予報の根拠	6 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)		

調査結果



- ・沖縄本島の茎内で発見したメイチュウ類の15% (4頭/26頭) イネヨトウであった。
- ・病害虫防除員の報告 (メイチュウ類) : 多発生 (久米島町)

防除のポイント

- ・ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
- ・ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
- ・植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。